

怪物狩猟

怪物狩猟

むせかえるような暑さが、君を包んでいた。

この密林にひそむ、さまざまな気配。そのひとつひとつに命があり、生き延びるための牙や、爪や、君の知らない恐るべき武器を隠している。

あるいは、その武器は君を傷つけるようなものではないかもしれない。逃げる脚や、手の届かないところへと飛び立つ翼かもしれない。

額に汗をにじませながら、樹の陰で息を殺す。いずれにせよ——君は思う。

いつだって、彼らのほうがつよい。

自然に棲む怪物たち。牛ほどに大きいカメレオンや、宝石にも劣らない美しさを放つ蝶々。あるいは、手のひらに乗るほどの小さな、人を殺すリス。

怪物狩猟者として、彼らを狩る。今日を生きるために。

それがなりわいだ。